



新 墾

令和 6 年度学校だより No. 2

校是 「自主 協力 向上」

令和 6 年 4 月 1 2 日 (金)

夢をもち、志高く
協力して みんなが
高まろう

由利本荘市立本荘北中学校(電話 22-0321) <https://edu2.city.yurihonjo.lg.jp/honkita-jh/>

令和 6 年度 入学式

8 日(月)に、由利本荘市教育委員会学校教育課長 倉***様をはじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、新入生の保護者の皆様に見守っていただきながら、令和 6 年度本荘北中学校第 8 0 期生 1 2 0 名の入学式を挙行了いたしました。

担任の先生から一人一人名前を呼ばれ、しっかりとした返事とその態度からは、今後の中学校生活への意欲と決意が感じられました。これから本荘北中学校で過ごす 3 年間で、友だちや先輩・後輩、先生方、そして地域の方々とたくさん関わりをもち、社会人として自立するための土台を築いていきましょう。

また、2・3 年生の姿勢や態度も立派で、学年が一つ上がった意気込みが感じられました。その意気込みをこれからも大切にしていきたいです。

新入生入学のことば

新入生代表 佐*** **

あたたかな春の風を感じ、桜のつぼみもふくらみ始める季節となりました。

私たち新入生は、新たな決意と大きな希望を胸に、由利本荘市立本荘北中学校の校門をくぐりました。本日はこのような立派な入学式を行っていただけることをうれしく思います。

夢にまで見ていた中学校生活。初めての制服に身を包み、胸が高鳴ります。

私たち新入生は、小学校生活を通して仲間と力を合わせて成し遂げることの大切さ、自分の可能性を信じて挑戦することの大切さを学びました。この二つを中学校生活でも忘れずに生かしていきたいと思っています。

本荘北中学校には、伝統を受け継ぐ三大大行事があると聞きました。運動会、合唱コンクール、北中祭。その行事に、今度は私たち新入生も加わることができる喜びを感じるとともに、しっかりと自分たちの役割を果たしていきたいと思っています。

体験入学では先輩方が真剣に授業に向かう姿を目にしました。また、小学校よりも学習内容が難しくなっていると感じました。中学校では部活動にも挑戦したいと考えています。勉強と部活動の両立は大変だと思いますが、分からないことは仲間や先輩方、先生方に聞いて、先輩方を手本としながら学んでいきたいです。これまでは受け身のことが多かったのですが、これからは自分から積極的に動きたいと思っています。

「夢をもち 志高く」私たちは、今日ここで入学式を迎えることができた感動と感激を忘れず、三年後、卒業を迎える日に、中学校生活を満喫した、悔いはなかったと、胸を張って言えるようでありたいと思っています。

新入生一同、今日の感激と決意を忘れずに、この本荘北中学校の生徒の一員として、自覚と誇りをもって努力することを誓い、入学の言葉とします。



在校生歓迎のことば

在校生代表 菅* **

桜の花が咲き始め、あたたかい日差しが降り注ぐようになりました。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。

ようこそ、本荘北中学校へ。私たちは仲間が増えることを楽しみにしていました。

新入生のみなさん、今どんな気持ちですか。これから始まる中学校生活に、ワクワクしている人、緊張で不安でいっぱいの人など様々で、私たちが入学した頃を思い出します。そんなみなさんに、本荘北中学校について、少しだけ紹介します。

本荘北中学校は、全校生徒382人の、由利本荘市で一番生徒数の多い学校です。ここには沢山の考えや価値観が集まっています。自分と異なった意見や気持ちに向き合い、理解し合う絶好のチャンスだと言えます。

また、三大大行事といって、伝統ある学校行事が三つあります。運動会、北中祭、合唱コンクールです。生徒主体で企画、運営されることから、楽しいだけでなく、学びの多い時間です。

学校行事以外にも、部活動や委員会活動等で他学年との関わりを深くしていきます。学習面では、教科ごとに担当する先生が違うことで、より専門性の高い授業を受けることができます。

2年先に中学生となった私を感じることをお話しします。

中学校生活は、あらゆる場面で、自分はどうしたいのか、どう考えるのか、という自身の意志が問われます。今までより自由に行動できる反面、自分自身に責任が伴います。これが小学校生活との大きな違いであり、私たちが時間をかけて学んでいく大切なことだと感じています。

さらに、何事にも積極的であればあるほど、不思議とチャンスに恵まれます。ぜひ、迷ったら大変そうだなあと思う方を選び、全力で楽しんでみてください。たくさんの成功はもちろん、失敗ですら、大人になっていくパワーとなると信じています。

不安に思うことや、困ったとき、なんだかうまくいかない時は、どうか一人で抱え込まず、周りを見渡してください。友だち、先生方、先輩となる私たちが協力します。

今日から、みなさんの中学校生活が始まります。私たちとともに、毎日の学校生活を楽しくいきましょう。

思いやりを大切に ～式辞から～

5日(金)の始業式、そして8日(月)の入学式の式辞で、学校生活を送るにあたり大切にしてほしいこととして「思いやり」についてお話ししました。

人への思いやりは、他の人を幸せにするだけでなく、自らも幸せにします。思いやりにより、お互いに助け合う友だちの輪ができます。そして思いやりは行動のエネルギーにもなります。弱い立場の人や困っている人がいたら、その人に寄り添い、助けてあげてほしいのです。そうすることで、その行動は、まわりまわって、みなさんが困ったときに、きっと、周りの誰かが助けてくれます。

「思いやり」を大切に、誰もが居心地がよく過ごせる、心の通い合う学校・学年・学級を目指していきましょう。

「こころ」はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど 「思いやり」はだれにでも見える

宮澤章二「行為の意味」より